

むさしの市議会だより

ギカイのリアル
お届けします

No.403

令和8(2026)年2月1日

CONTENTS

- 一般質問ってなに? 2-3面
- 市民意見交換会を実施しました 3面
- 本会議における審議結果 4面
- 病床配分を求める意見書を東京都へ提出 4面
- 陳情審議結果 4面
- 用語解説 4面

発行：武蔵野市議会
<https://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>



令和7年第4回市議会定例会 議案をPick up!

第4回定例会は、当初は12月3日から12月17日までの開催予定でしたが、12月17日の議決により会期を8日間延長し、12月25日まで開催しました。

今議会では、20人の議員による一般質問を行いました。

議案では、令和7年度武蔵野市一般会計補正予算(第6回)のほか、31件の市長提出議案、「市民の命と健康を守るために、地域特性を踏まえた持続可能な病院を整備するための病床配分を求める意見書」の議員提出議案を可決しました。

一般会計補正予算を可決

物価高騰に引き続き対応し
「むさしの食と暮らし応援事業」を実施



12月9日からの各常任委員会での審査を経て、同月17日の本会議において、「令和7年度武蔵野市一般会計補正予算(第6回)」を賛成多数で、「令和7年度武蔵野市一般会計補正予算(第7回)」を全会一致で可決しました。また、12月25日の総務委員会を経て、同日の本会議において、「令和7年度武蔵野市一般会計補正予算(第8回)」を全会一致で可決しました。

一般会計の補正第6回は、熱中症対策として、エアコン購入費の5万円を上限とする補助や、令和7年産米の価格上昇による学校給食食材費高騰対応臨時補助金等を追加しています。

一般会計の補正第7回は、物価高対応子育て応援手当支給事業に係る経費を追加しています。物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援するもので、ゼロ歳から高校3年生までの子どもへ1人当たり2万円の支給が行われます。

一般会計の補正第8回は、「むさしの食と暮らし応援事業」実施に係る経費を追加しています。国から「重点支援地方交付金」が追加交付されることを受け、本市では幅広い食料品などの購入を可能とすることを重視し、日常の買い物から外食まで多様なシーンで利用できる利便性と、事務コストを抑えた効率的な支援を両立できる手法として、1人当たり5,000円相当のギフトカードの配付を予定しています。



災害用トイレトラックの買入れについてを可決

12月9日、総務委員会での審査を経て、同月17日の本会議において、「災害用トイレトラックの買入れについて」を賛成多数で可決しました。

本議案は、災害時に活用するトイレトラックを備えるためのもので、一般社団法人助けあいジャパンによる全国的な受援・応援の仕組みである「災害派遣トイレネットワークプロジェクト」に参加することにより、本市が被災した場合は、ネットワーク加盟自治体のトイレトラック等の支援を受けられる可能性があります。また、ネットワークに参加する他の自治体が被災した場合は、被災地へ本市のトラックを派遣します。買入れるのは、災害用トイレトラック1台で、価格は2,647万5,900円です。

12月9日の総務委員会での審査では、委員から執行部への質疑の後、討論が行われました。討論者は3名で、反対討論2名、賛成討論1名でした。反対討論は、トイレトラックの購入には賛成するが、一般社団法人助けあいジャパンのスキームに乗って購入することには、説得力と、正当性が欠ける。また、ネットワークを継続するための費用が明確でないことや、クラウドファンディングで広くお金を集めることには慎重であるべきこと、そして随意契約による公共調達として相応の説明責任が果たされていないことから、反対するというものでした。賛成討論は、本年度の予算要望を市長がスピード感をもって実現したことを評価する。本市の災害時におけるトイレ施策の全体像を明示することを求め、賛成するというものでした。

12月17日の本会議でも3名の議員による討論が行われ、採決の結果、賛成多数で可決しました。



イメージ写真

病床配分を求める意見書を
東京都へ提出しました
詳しくは4面へ



「翼を広げたシジュウカラ」

井の頭公園でカメラを構えていると、ちょうどシジュウカラがやって来ました。

●撮影：山下 倫一（武蔵野市） ●場所：井の頭公園（2024年1月26日）

議会広報委員会からのお知らせ

次号の市議会だより404号については、一面写真の募集は行いませんのでご了承ください

Q

一般質問 ってなに？

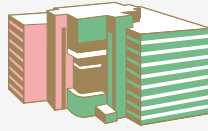
A

議員から市への質問・提言です！

第4回定例会では12月3日、4日、5日に20名の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、2月中旬発行予定の会議録（設置場所：各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー）、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第4回定例会分は2月18日登録予定）、インターネット議会中継でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。



中学校の適正規模は 教育委員会や市長が 検討を

菅 源太郎 議員



- Q 中学校の適正規模基準について①国の標準と同様の12学級以上とする方向だが都内12区市の中学校が12学級未満だ。慎重な検討が必要と考えるが見解は②2026年3月の中間まとめを受け教育委員会や総合教育会議で検討するか③義務教育学校を検討するか。
- A ①審議会で子どもに最善の教育環境を目指した丁寧な審議がなされていると認識している②教育委員会で議論し、その後総合教育会議でも市長と議論する③あくまで他自治体の例として委員にお伝えした。
- Q 住まいの防犯対策補助について①戸建てと集合住宅の申請比率は②本市の7割を占める集合住宅で防犯と家具転倒防止両方の申請受け付けができないか。
- A ①審査終了件数で戸建て対集合住宅は約5対1の比率だ②集合住宅に対する啓発や広報を検討したい。

市民資産は確かなフレーム ワークで評価検証し、 適切に運用せよ

道場 ひでのり 議員



- Q 本町三丁目公園に設置された身体障害者専用駐車場は、公費をかけた市民資産であり、費用対効果や運用状況の検証が必要と考えるが、現況を伺う。
- A 福祉の要素があり定量的評価は難しいが、今後利用者ヒアリングを行い、効率的な活用につなげたい。
- Q 武蔵野スイングホールのファッティオリピアノは導入に際して多くの議論を重ね、保管環境の整備など、しっかりした管理体制を強く要請してきたが、①導入以降の管理体制は②評価検証の手法を伺う③移動の際、台車を使わず手押ししているのは問題では。
- A ①温度、湿度を保ち、調律業者等と情報共有しながら管理している②利用者アンケート等の結果を含めて確認したい③専用の運搬台車を用いることとしているが、誤った運用があれば指導していきたい。

社会保障の意義、 介護保険の現況と課題、 今後の展望を伺う

深沢 達也 議員



- Q セーフティネットとも呼ばれる社会保障制度の意義について、市長の認識を伺う。
- A 個人のリスクを社会全体でカバーする仕組みであり、安心して暮らせる社会や成熟した文化等は、しっかりとした社会保障の上に成り立つと認識している。今後も制度の維持に全力で取り組みたい。
- Q 介護保険制度の現状と課題認識について伺う。
- A 高齢者の増加と財源の支え手である現役世代の減少により、保険料の上昇や介護業界の人材不足が予想される。制度の持続可能性の確保が最大の課題だ。
- Q 課題解消に向け、今後の展望について伺う。
- A 人材確保に向けた介護職のイメージ向上や就労環境改善等に取り組む一方、社会活動の機会が年齢によって制限されない環境づくりなどが大切と考える。

火葬インフラの確保、 特色ある教育活動の 吹奏楽クラブへ支援を

藪原 太郎 議員



- Q 火葬場不足について多摩26市で広域的協議体を作る必要があると考えるが見解は。また本市としてこの課題を積極的に提起する考えがあるか伺う。
- A 区部での火葬場不足等を踏まえ、都は調査を行う方針である。都や他市区と連携し対応を進めたい。
- Q 将来確実に起こる火葬場の逼迫に対し、市として危機感を持ち、対策を検討すべきではないか。
- A 危機感を持つ必要がある。安置所など課題があり、災害時も踏まえて対応を総合的に検討する。
- Q 吹奏楽クラブの活動環境整備・支援の方向性は。
- A 計画的な整備を着実にを行い、指導者の適切な確保等により持続可能な取り組みとなるよう支援する。
- このほか、学校施設のイベント利用、地域防災マネージャー制度の導入についての質問がありました。

オンラインギャンブル禁止 の周知徹底を

下田 ひろき 議員



- Q ギャンブル等依存症対策基本法には、違法オンラインギャンブルが禁止であることを自治体が周知徹底するよう明記されているが本市の取り組み状況は。
- A 社会問題化しており深刻な課題であると感じている。違法オンラインギャンブルに特化した周知は現在行っていないが、今後研究していきたい。
- Q 東京都ギャンブル等依存症対策推進計画（第2期）が策定され、本市も対策を充実すべきだが見解は。
- A 依存症の方の抱える課題は経済的困窮や日常生活の困難化にも影響し、専門医療機関との連携も必要だ。都の動向を注視し、連携しながら取り組む。
- Q 学校での依存症の予防教育充実を求めるが見解は。
- A 子ども自身が自立心や判断力を培うことが極めて重要だ。その視点を踏まえ指導の充実を図っている。

介護・福祉・保育・ 教育など市で働く人の 人材拡充と待遇改善を

山本 ひとみ 議員



- Q 財政援助出資団体の雇用面での待遇改善の現状は。
- A 毎年の給料のベースアップや奨学金返済支援、休暇制度の適宜見直しをしている団体を確認している。
- Q 会計年度任用職員の待遇改善に関して、1時間単位で有給休暇が取得できるようにすべきだが見解は。
- A 一定の任用期間と勤務時間数以上の職員に、来年度より1時間単位で取得できるよう制度改正予定だ。
- Q 学級数変更に関する市民の声を集め、学校施設整備基本計画策定審議会の審議に生かしてはいかがか。
- A 今後、3駅圏で説明会を予定しており、より多くの市民の方々に審議状況等を周知していきたい。
- Q 仮に第二・第六中学校が統合されると、境南町1丁目南側居住の生徒の通学距離が長くなるが見解は。
- A ご指摘の課題も含め、審議の状況を見守りたい。

地域デジタル通貨、 メタバース上の居場所 づくりの検討状況は

山崎 たかし 議員



- Q 地域デジタル通貨の導入の可能性や、市での実証実験の予定、導入に向けた検討状況を伺う。
- A 他自治体では、地域デジタル通貨と地域ポイントの導入事例がある。当市にはポイント事業が複数あり、ポイントを束ねる形での地域ポイントはハードルが低い。デジタル通貨は導入に向けての課題が大きい。先行事例等を調査しており、来年度は本格的に検討したい。
- Q 市として仮想空間などメタバースを活用した居場所づくりの調査研究を行った事例があるのか伺う。
- A 近隣市と共同で、教育メタバース等の研究を行った。また、策定中の第八次総合情報化基本計画では、多様な主体との共創という項目の中に、メタバースの可能性の検討を記載したいと考える。

学校施設整備基本計画と 自閉症・情緒障害特別支援 学級設置を問う

三島 杉子 議員



- Q 施設一体型や小中一貫校以外の、都内の市立・区立中学校の総数と、そのうち18学級以上の校数は。
- A 2025年度の総数582校のうち18学級以上は32校だ。
- Q 中学校の規模について、12から18学級という基準の決め方はいかかと思うが、見解は。
- A 12から18学級ありきではなく、本市にとってはどうかという視点で、審議会でもご議論いただきたい。
- Q 本市には設置がない自閉症・情緒障害特別支援学級（固定級）の設置を求めるが、見解を伺う。
- A 自閉症・情緒障害特別支援学級新設も検討したい。
- Q 会計年度任用職員であるパートナー職員は14年間賃上げがなく、ベースアップを求めるが見解は。
- A 他自治体の報酬水準や再任用職員の年収との比較等の検討状況を踏まえベースアップの判断をしたい。

不登校児童生徒の支援の 在り方、北町調理場での 給食提供を求める

きくち 由美子 議員



- Q 不登校児童生徒に対する校内別室での支援についての評価と、今後の方向性を伺う。
- A 支援員が常駐する校内別室へ登校でき、授業に出席する児童生徒も出てきた。一方で、学習の支援が課題であり、有効な支援体制の構築を検討する。
- Q 北町調理場で不登校児童生徒に給食提供は可能か。
- A 調理員と来場者の動線分離や、専用スペースの確保が困難だが、チャレンジルームが新保健センターへ移転する際には給食提供の体制構築を検討したい。
- Q 老人クラブの事務負担に対する見解と対策を伺う。
- A 事務負担に起因する役員の成り手不足が問題で、老人クラブの解散にもつながっている。来年度、市民社協に事務サポート職員1名を追加配置し、事務作業等のサポートなど必要な対応をしていきたい。

武蔵野版事業効率化 委員会で1円たりとも 無駄遣いしない行政を

東山 あきお 議員



- Q 過去にイーロン・マスクのDOGEのような、武蔵野版事業効率化委員会を作りたいと述べたが、政府でも日本版の効率化委員会がスタートするにあたって、本市においても新しい行政評価の在り方について事務事業の総点検など、抜本的にやり方を考え直していただきたい。毎年予算額も膨れ上がっているため、マイナスシーリングなどを導入し、徹底的に行財政改革を推進すべきだが、見解を伺う。
- A 新たな事務事業見直しにあたり、抜本的な改革や市民に対する見える化を進めていきたい。本市には、細かなものまで含めると何千もの事務事業があるため、事業の定義を庁内でまとめ、一定程度抽象化したうえでしっかりと評価し、行財政改革を進めていけるように議論していきたい。

不登校・ひきこもりの居場所と、健康づくりポイント制度の導入を

浜田 けい子 議員



- Q 不登校生徒対象のチャレンジクラスの準備状況は。
- A 都教育委員会へ新規設置の申請をしており、都の認定が下りたら新年度に開設予定だ。保護者への丁寧な説明と周知を行い、体制等を含め準備している。
- Q 若年層と中高年齢層へのひきこもり支援策を伺う。
- A 福祉総合相談窓口で相談を受け、必要なサービス、支援につなげている。オンライン居場所事業やメタバース等は、広域的な連携の中での実施が有効だ。都や関連自治体とも協議して今後につなげたい。
- Q 健康づくりポイント制度の導入について見解は。
- A 市民の健康増進に寄与し、医療費や介護費の削減も期待できると考えるが、付与されたポイントの交換が課題だ。既存事業等も含め、幅広い活動に対する共通の地域ポイント制度を中心に検討を進める。

男女平等施策の推進や武蔵野中央公園の施設整備を求める

宮代 一利 議員



- Q 市の男女平等推進施策の最終目標を伺う。
- A 市民のウェルビーイングが最終目標と考えている。
- Q 本市の学校教育における男女平等に対する認識と、取り組み内容について伺う。
- A 人権課題の一つと捉えている。各教科や学校行事等で子どもたち自身に考えさせるなど、適正な男女平等に関する教育の推進が大切だ。地域に参画し貢献する等の取り組みで意識が少しずつ培われている。
- Q ジャンボリー開催の判断基準について伺う。
- A 今年度実行委員会で策定した判断基準に基づき、青少協の各地区委員長会議で継続的に検討を進める。
- Q 武蔵野中央公園のナイター設備設置の検討状況は。
- A 設置しないという都の方針を尊重してきたが、市民の要望を受け、設置に向け今後協議を行いたい。

市民に開かれた学校施設整備計画の策定を求める

本間 まさよ 議員



- Q 令和7年11月6日に行われた第二期学校施設整備基本計画策定審議会は、傍聴席が少なくオンライン通信も不安定だったが、傍聴環境を改善すべきでは。
- A 次回からは、より大きな会場を確保している。安定した通信環境も実現できるよう準備を進めていく。
- Q 学校改築に関して、教育委員会発行のリーフレットには学級数が少ないことのデメリットのみ記述しており、恣意的な表現だと考えるが、見解を伺う。
- A 表記や表現は恣意的に感じられないように公平公正で正確な情報を伝えるようにしていきたい。
- Q 地域医療について、病院が急患を受けられない現状もある。国の病床削減方針に反対意見を上げては。
- A 大きな問題であり、改善のために医療について議論し、必要に応じて国に意見を言っていきたい。

期限切れ健康保険証の使用延長を市民へ積極的に周知せよ

橋本 しげき 議員



- Q 国は時限的な措置として、患者が期限切れの健康保険証を提示しても通常の自己負担割合で受診できるよう医療機関に求めている。市も医療機関への働きかけや市民へ周知広報すべきと考えるが、見解は。
- A 市民が必要な医療を受けられるよう、医師会と協議しながら周知していきたい。
- Q トランプ米大統領の核実験再開表明への見解は。
- A 非核都市宣言を行っている自治体の市長として、大変遺憾であり、大きな危機感を抱いている。
- Q 最高裁は生活保護基準引き下げが違法と判断した。国の方針では原告と他受給者で支給額が異なるため全受給者に同様の対応をするよう求めるべきでは。
- A 国の方針については変更を求める予定はないが、折を見て本市の実態等を踏まえた意見を伝えていく。

介護未満からの支援、高齢者等の賃貸居住支援、樹木管理を問う

蔵野 恵美子 議員



- Q 本市の介護予防・日常生活支援総合事業は、まず介護（支援）認定を受ける必要があるため、介護未満の方にはハードルが高く、非該当者向けの支援の利用実績が極めて少ない。課題と考えるが見解は。
- A 本市では認定を通じて医療情報を確認したうえで、しっかりとサービスにつなげるという特徴がある。
- Q 高齢者等の賃貸居住支援として、2025年10月から居住サポート住宅が開始された。従来の武蔵野市あんしん住まい推進事業とのすみ分け・連携を伺う。
- A 両事業の目的は同じである。住宅・福祉部局等と連携し、両事業を組み合わせる住宅支援を図りたい。
- Q 市内でも倒木事故が発生している。樹木診断・管理には、正確で効率的なAIを併用すべきでは。
- A DX化は一定理解できるため、研究していきたい。

学校と地域、産業と地域のつながりを再点検・再評価せよ

本多 夏帆 議員



- Q 小中一貫の議論や、二中と六中の統廃合の議論を振り返り、中学校の数についての議論に生かしては。
- A まずは、審議会での審議の進捗を広く多くの市民に正しく知っていただけるよう、説明会の開催や動画配信、リーフレットでの広報等を丁寧に行いたい。
- Q 商店会への補助は自己負担が多いことが課題だ。一般的な補助事業とは異なる考え方が必要では。
- A 商店会からの要望や、昨今の社会・経済情勢等も踏まえ、現在、補助の在り方について検討している。
- Q 同じところで毎週のようにごみが道端に散乱しているケースが見受けられる。市の対応を伺う。
- A 被害防止の指導や排出ルール等ごみ全般の指導を、令和6年度は690件行った。今後も、広報と緊急対応センターの指導により、効果的に啓発していく。

痛みのない乳がん検診の補助の新設で受診率向上を

さこう もみ 議員



- Q MRI使用のドゥイブス法での乳がん検診は、身体的・心理的負担を軽減し受診率向上に寄与すると考えるが、受診料補助で支援を図ってはどうか。
- A 現在は乳房エックス線検査を実施している。現状、MRI検診へ補助の予定はないが、乳がんのガイドラインの更新および指針の動向に注視したい。
- Q ユースヘルスケアの取り組みとして、ユースクリニックなどの居場所事業が効果的だが、見解は。
- A ユースヘルスケアは都の相談事業への協力等により実施されるべきだが、ユースカフェ等での意見交換を通じユースヘルスケアにつながるよう検討する。
- Q 気候危機対策における住宅対策をどう認識するか。
- A 住宅の高断熱・高気密化等は気候変動対策において重要で、特に既存住宅の改修が重要だと考える。

地域の支柱となる医療と学校施設整備は深謀遠慮な判断を

深田 貴美子 議員



- Q 吉祥寺の地域医療に関し、東京都地域医療構想調整会議では、必要病床数のデータが古く、2035年に高齢者人口がピークアウトすること等から、125床も復元すべきかと指摘された。125床が上限なのか。
- A まずは125床は確保できたと考えて結構だ。
- Q リハビリテーション病床は脳血管疾患等の病名に限定される。認知症にも対応する地域包括ケア病床の整備など市民ニーズに合った病床整備が必要では。
- A 協定書では地域包括ケアシステムの推進・強化の視点を持ち地域に根ざす持続可能な病院と記載した。
- Q 「学校・家庭・地域の協働体制」すなわち「コミュニティ・スクール」制度に関し①不登校対策チャレンジクラスの定員は②小中一貫教育の再検討は。
- A ①通常学級と同じ基準②審議会の議論を見守る。

市立図書館でおしゃべりをしてよいという方針を作成しては

川名 ゆうじ 議員



- Q 大阪府泉大津市立図書館「シープラ」はおしゃべりをしてよいという方針だ。多摩市立中央図書館でも同様の方針変更をしたところ来館者数が増え、若年層の貸出冊数が急増し、主体的・対話的で深い学びにもつながっていると伺った。本市の図書館はおしゃべりや会話を禁止しているのか。原則禁止なのであれば、図書館の理念、方針を変更すべきでは。
- A 本市の図書館は、館内での一般的な会話、おしゃべりについては許容している。一方で静かであるべきとの考えもある。図書館の理念に寛容性を取り入れ、誰でも親しめる図書館を目指すことを、これからの図書館の視点として取り入れていきたい。
- このほか、図書館のDX、AI活用、市職員の地域手当等についての質問がありました。

20年で取り壊す武蔵野公会堂の高額な改修費用は見直すべきでは

小林 まさよし 議員



- Q 20年で取り壊す武蔵野公会堂の改修費用は総額35億円であり、平米単価は138万円と小学校改築費用の2倍だ。高額すぎるが見直す必要はないのか。
- A 当然、費用対効果の話は出てくるが、最終的な設計費用が出た際に総合的に判断すべきと考える。
- Q 学校改築事業は全市民へ丁寧かつ十分な周知徹底が必要だ。市長は市民満足度向上のためには情報公開が必要と訴えていたが、どのように周知するのか。
- A 地域への説明はしっかりと時間を取り、丁寧に意見を聞いて議論するよう教育委員会に依頼している。
- Q 市の経済活性化に資する商店会活動継続のため、事務負担を軽減する地区サポート事業の補助率を、現在の3分の2から引き上げるのが妥当ではないか。
- A 商店会とも議論し、適正な補助をしていきたい。

市民意見交換会を実施しました

令和7年11月22日（土曜日）、「市民と議会の意見交換会」を実施し、会場では9名の方、オンラインでは1名の方にご参加いただきました。当日の概要は2月中に、武蔵野市議会ホームページに掲載予定です。



当日の様子

本会議における審議結果

▲本会議における詳細な
賛否結果についてはこちら○…賛成 ×…反対 議…議長のため採決に加わらなかった
欠…欠席 退…退席 除…除斥【会派略語】立憲:立憲民主ネット
公明:市議会公明党
維新:日本維新の会武蔵野市議団
無む:無所属むさしの自民:自由民主・市民クラブ
共産:日本共産党武蔵野市議団
ワは:ワクワクはたらく
ー:会派に属さない議員

| 賛否が分かれたもの | | 立憲 | | | | | | | | | | 自民 | | | 公明 | | 共産 | | 維新 | ワは | 無む | - | - | 賛成 | 反対 | 議決結果 | | | | |
|-----------|---|------|------|-------|--------|-------|------|--------|--------|-----|-------|-----|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|----|----|------|-------|--------|-------|----|
| 番号 | 議案等の名称 | 菅源太郎 | 藪原太郎 | 蔵野恵美子 | 西園寺みきこ | 川名ゆうじ | 深沢達也 | 道場ひでのり | きくち由美子 | 木崎剛 | 山崎たかし | 与座武 | 大野あつ子 | 浜田けい子 | 落合勝利 | 橋本しげき | 三島杉子 | 本間まさよ | 深田貴美子 | 東山あきお | 宮代一利 | 本多夏帆 | さこうもみ | | | | 山本ひとみ | 小林まさよし | 下田ひろき | |
| 議案第102号 | 災害用トイレトラックの買入れについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | 20 | 4 | 可決 | |
| 議案第103号 | 令和7年度武蔵野市一般会計補正予算（第6回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 23 | 1 | 可決 | |
| 議案第104号 | 令和7年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算（第1回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | 19 | 5 | 可決 | |
| 議案第105号 | 武蔵野市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | 17 | 7 | 可決 |
| 議案第108号 | 武蔵野市教育委員会教育長の給与、旅費、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | 20 | 4 | 可決 |
| 議案第109号 | 武蔵野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 21 | 3 | 可決 | |
| 議案第110号 | 武蔵野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | 19 | 5 | 可決 | |
| 議案第114号 | 武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | 20 | 4 | 可決 |
| 陳受7第5号 | 大和ハウス工業株式会社の進める「武蔵野市吉祥寺南町1丁目の建築計画」に関する陳情 | × | × | × | × | × | × | × | × | 議 | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | 退 | × | × | × | × | × | × | 1 | 22 | 不採択 | |

| 全会一致となったもの | | 議決結果 |
|------------|---|------|
| 番号 | 議案等の名称 | |
| 議案第81号 | 専決処分の承認を求めることについて（令和7年度武蔵野市一般会計補正予算（第5回）） | 承認 |
| 議案第82号 | 武蔵野市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第83号 | 武蔵野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第85号 | 武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第86号 | 武蔵野市一時保育事業の実施に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第87号 | 武蔵野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第88号 | 武蔵野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第89号 | 武蔵野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第90号 | 武蔵野市障害者福祉センター条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第91号 | 武蔵野市中小企業勤労者等福利厚生資金融資条例を廃止する条例 | 可決 |
| 議案第92号 | 武蔵野市下水道条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第93号 | 武蔵野市下水道事業審議会設置条例 | 可決 |
| 議案第94号 | 武蔵野市給水条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第95号 | 物損事故に係る損害賠償の額の確定及び和解について | 可決 |

| 全会一致となったもの | | 議決結果 |
|---------------|---|------|
| 番号 | 議案等の名称 | |
| 議案第96号 | 東京都六市競艇事業組合規約の一部を変更する規約 | 可決 |
| 議案第97号 | 中央コミュニティセンターバリアフリー化等改修工事請負契約 | 可決 |
| 議案第98号 | 武蔵野庭球場等改修工事請負契約 | 可決 |
| 議案第99号 | 高齢者総合センター大規模改修工事請負契約の変更について | 可決 |
| 議案第100号 | 高齢者総合センター大規模改修に伴う機械設備工事請負契約の変更について | 可決 |
| 議案第101号 | 市庁舎屋上防水改修工事請負契約の変更について | 可決 |
| 議案第111号 | 井之頭小学校解体工事請負契約 | 可決 |
| 議案第112号 | 令和7年度武蔵野市一般会計補正予算（第7回） | 可決 |
| 議案第113号 | 武蔵野市非常勤職員の報酬等に関する条例等の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第115号 | 令和7年度武蔵野市一般会計補正予算（第8回）（※） | 可決 |
| 議員提出 議案第7号 | 市民の命と健康を守るために、地域特性を踏まえた持続可能な病院を整備するための病床配分を求める意見書 | 可決 |
| 陳受7第6号 | 「全ての公務員の任用に国籍条項を定める法律」の制定を求める意見書提出に関する陳情 | 不採択 |
| 陳受7第7号 | 「外国人による日本の土地購入を規制する法律」の制定を求める意見書提出に関する陳情 | 不採択 |
| 陳受7第8号 | 武蔵野市内の小・中学校における「いじめ」をなくす取組に関する陳情 | 不採択 |

（※）議案第115号の採決の際は、欠席した議員がいました。

病床配分を求める意見書を東京都へ提出

市民の命と健康を守るために、地域特性を踏まえた
持続可能な病院を整備するための病床配分を求める意見書

12月17日の本会議において、「市民の命と健康を守るために、地域特性を踏まえた持続可能な病院を整備するための病床配分を求める意見書」の議員提出議案を全会一致で可決しました。

全国的には病床を削減する傾向にありますが、吉祥寺地域は人口密度や高齢化率が高いという地域特性があり、持続可能な病院の整備が必要と考え、病床配分の権限を有する東京都に意見書を提出したものです。

▲意見書の
本文はこちら

陳情 審議結果

不採択

- 大和ハウス工業株式会社の進める「武蔵野市吉祥寺南町1丁目の建築計画」に関する陳情（※）
- 「全ての公務員の任用に国籍条項を定める法律」の制定を求める意見書提出に関する陳情
- 「外国人による日本の土地購入を規制する法律」の制定を求める意見書提出に関する陳情
- 武蔵野市内の小・中学校における「いじめ」をなくす取組に関する陳情

（※）は継続審査となっていたものです

継続

- 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出に関する陳情

▲陳情文書表
はこちら

用語解説



議決ってなに？

議会では、それぞれの議員が議案などに対し、賛成か反対かを表明します。その結果として、議会全体で行われた決定のことを、議決と言います。

意見書ってなに？

武蔵野市に関係する内容について、議会の意見をまとめた文書のことです。議会は、意見書を国会や国、東京都などに提出することができます。

陳情ってなに？

武蔵野市に対する要望や意見を記載した文書を、市議会に提出することです。陳情は議会で審議し、採択した場合は、議長から市長へ要望や意見を伝えます。

議案ってなに？

市長や議員が議会に提出する案件のことです。議案には、条例の制定や改正、予算や決算の決定、契約の締結などがあります。

議案の提案から

議決までの流れ

議案などを会議の議題とすることを、上程と言います。上程された議案の多くは、詳しく検討するため、委員会に付託（審査をお願いすること）されます。委員会が審査された後、その結果を委員長が本会議で報告します。その後、本会議で審議し、議決を行います。

市議会の情報を市の公式LINE、公式X
（旧ツイッター）から発信しています。
ぜひ登録してください。▲市公式
LINE

▲市公式X

市議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください

議 会
事 務 局

☎0422-60-1883 ☎0422-55-7555

✉ofc-gikai@city.musashino.lg.jp

市議会ホームページhttps://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/

会派
名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。

▲会派名簿は
こちら